

声明文

第2回 NPO全世代フォーラム

【共催：早稲田大学アジア太平洋研究センター】

平成28年6月11日（土）早稲田大学3号館にて開催された第2回 NPO全世代フォーラムの参加者は、

- ・ 効率的な医療制度のもと、人々が自らの健康に積極的に取り組む社会（Wellness）
- ・ 若者が仕事に就け自立可能な社会（Job）
- ・ それぞれの価値観、能力などに応じ自分らしく自己実現できる社会（Empowerment）

を実現するための“急所”として ①地域の医師不足問題 ②待機児童問題

③人生の再挑戦 の3つのテーマに焦点を絞り議論し、以下5点につき合意した。

- 【1】地域の医師不足問題については、NPO全世代 医療分科会から解決策が提案され、その基本的方向に関して参加者から賛意が表明された。同時に、その実現に向けて、乗り越えなければいけない課題が提示されたため、関係機関・組織との協議等を更に推進していくこと。
- 【2】待機児童問題については、NPO全世代より提示され、その方向性について賛同の得られた 病院内保育所の地域開放の推進に向け、自治体等と連携し一つあるいは複数の地域を選定し、ケーススタディを実施すること。
- 【3】人生の再挑戦については、若年層・熟年OB層を含む参加者が小グループに分かれ、再挑戦を困難にしている原因の分析などを中心に活発な議論がなされたが、NPO全世代として取り組むべき具体的活動については結論に至らず、これからも本フォーラム参加者を中心に議論を継続すること。
- 【4】上記【1】【2】【3】いずれも平成28年11月19日（土）に予定されている 第3回 NPO全世代フォーラムにおいて進捗状況を報告すること。
- 【5】NPO全世代の活動のための財源確保、SNSなどを活用した情報発信などをこれまで以上に積極的に行うこと。

平成28年6月11日